

会員参加費無料

8/2 金

19:00~20:30

学術研究部会企画講演会

日医生涯教育講座1.5単位 (CC23: 体重増加・肥満)

# 肥満症と糖尿病における 新規治療薬と病態の解明

講師

なかざと まさみつ

中里 雅光



大阪大学特任教授/宮崎大学名誉教授

1984年宮崎医科大学（現宮崎大学）医学部大学院医学研究科修了、医学博士号取得。宮崎医科大学医学部第三内科助手、講師を経て2003年宮崎医科大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野教授に就任。その後2021年より宮崎大学フロンティア科学総合研究センター特別教授、2024年より大阪大学理学部フォアフロント研究所特任教授を歴任、現在に至る。

形式 WEB・会場ハイブリッド開催

★申込時に参加形式をお選びください

【WEB】ZOOM ウェビナー

【会場】くまもと県民交流館パレア会議室 8  
(熊本市中央区手取本町 8-9)

会場は **定員30名(先着順)**

※質問は会場を優先いたします

対象

会員の医師および医療スタッフ

※未入会の場合は入会手続きが必要です

(事前申込制)

セミナーのお申込みはこちらから



QRコードをスマホ等で読み取って必要事項を入力の上お申し込み下さい

締切: 7/31 (水) 17時まで <https://x.gd/gPaa5>

※QRコードからのお申込みができない場合はお電話でも受付いたします

講演内容

2009年にわが国でもインクレチン (GLP-1 と GIP) を標的としたDPP-4阻害薬が発売され、2014年以降は経口糖尿病の処方割合の中で最も多くなっている。その後GLP-1の注射剤や経口剤、インクレチンハイブリッド (GLP-1とGIPのデュアルアゴニスト) などが続々と開発され、糖尿病治療は大きく変わった。肥満症は脂肪の過剰な蓄積によるBMI増加とそれに伴う健康障害であるが、有効な薬剤治療はなかった。

2023年から既存の注射用GLP-1製剤がわが国でも抗肥満症薬として承認され、また欧米では前述のインクレチンハイブリッド製剤が抗肥満症薬として発売されている。本年には、小腸からの脂肪吸収を抑制する内臓脂肪減少薬が一般用医薬品として市販されている。これらの薬剤開発からわかってきた肥満症治療の病態と治療有効性の問題について新たな知見を加えて講演したい (講師談)。

主催: 一般社団法人 熊本県保険医協会  
E mail:kumamoto-hok@doc-net.or.jp TEL 096-385-3330

後援: 公益社団法人 熊本県医師会

公式LINEアカウント  
お友達募集中

